

体験day キャンパス開講授業

授業名	内容
環境経済論	環境経済論は環境問題を経済的に解決することを目指す学問です。まず1)理論・歴史、2)実証・実践の流れで学んでいきます。1)で概念的に学びます。公害問題の内容、おきた背景、公害問題に取り組んできた人について学ぶことで、歴史的な経緯をつかむことができます。次に経済学的に環境・公害問題をどのようにとらえるのか、そして制御するのについて学びます。特に経済的な手法によってコントロールする意義と成果について学びます。2)は各論になります。2)はローカルな公害・環境問題の代表例です。経済的手段をどのように使うのかに焦点をあてながらも、一方で、現場からの視線も大切にします。なぜなら環境問題は人の暮らしの問題でもあるからです。そこで問題の背景、制度、被害者の立場、人々の暮らしにも着目していきます。
ビジネス&ローワークショップ	学生主体で学ぶPBL(Project-Based Learning「課題解決型学習」)で実施される。参加学生はチームを作り、課題の具体的設定、分析方法の決定、資料収集からプレゼン内容の組み立てに至るプロセスを自主的に行う。プロジェクト(問題解決のための研究)遂行にあたっては、野村證券、アジア開発銀行(ADB)の専門講師陣を招聘し、自らの関心や問題意識を持つなど自律性を促す授業を行っていく。またチーム単位でのプロジェクト運用を重視しており、参加学生はコミュニケーション能力と自主的な問題・課題への積極的取り組みが求められる。
国際地域経営論	国境を越えて異なる経営環境に直面し、多様な経営的な問題をいかに解決するかが非常に重要な課題となっている。企業は海外展開する際、進出国家の社会、文化、政治、経済、制度等に関する情報を深く分析することが必要であり、その国際経営環境を分析する能力が企業の国際競争力に影響を及ぼすことが明らかになってきている。本講義では国際地域環境を分析するにあたって、必要な概念や分析ツールなどを中心に学び、可能な限り多くのケースを紹介したい。
Business English II	Business English 2 in the fall semester will improve students' communication skills in many everyday business situations as they study business vocabulary and topics. Students will also practice important business skills such as negotiating, making presentations, and telephoning in English.
Business English III	The course focuses on written communication skills in e-mail format in many everyday business situations as they study business vocabulary and topics, as well as on TOEIC listening and reading skills. Students will also practice oral communication in the context of everyday business functions.
法史学入門 (西洋法史)	法史学とは、「かつてどのような法があったのか」、「その法はどのようにして生れたのか」、そして「その法によって人や社会はどのように規律されたのか」といったテーマを解明することによって、「法とは何か」について考える学問であるといえるでしょう。それは現代法の理解を深め、今後のあるべき卓越した法を模索するために大きな役割を果たすものと思われます。本講義では、法史学を学ぶための基礎的知識や方法論について説明してから、近・現代の日本法に多大な影響を及ぼしてきた西洋法の歴史を重要テーマごとに論じていきたいと思います。
惑星平和学とは何か —批判的安全保障から考えるポストSDGs	最先端の平和研究を追求するために、惑星的思考という世界では活発になっているが、日本の他の大学ではほとんど議論が進んでいない分野について、入門的に考える内容となっている。
公共政策の最前線 —「子どもの貧困」問題を考える	わたしたちが生きている現代の社会は、まさに大きな転換期に直面しています。社会の多くの政策分野で既存の枠組みが問い直しを受け、問題解決のための新しい制度設計が求められています。つまり、政策を考えるという作業は、「未来をつくる」営みです。この授業では、私たちがいま直面しているさまざまな政策課題を、自分たちの視点から、自分たちのリサーチを通して浮き彫りにしていくことを課題にしています。そのうえで、どのような仕組みで解決策を考えるのか、その政策学的思考の基礎を養っていきます。
グローバルキャリアのための平和問題入門 —地球的課題とSDGs—	2022年の世界と日本は、平和への願いとは裏腹に混沌としています。とくに、近年のグローバル化の進展は、私たちに豊かさや自由をもたらした一方で、貧富の格差をはじめ、紛争やテロ、核問題、人権抑圧、地球環境問題、新型コロナウイルス感染症、そしてウクライナ問題など難題をつまづけています。そして、より長期的スパンで見ると、これら諸問題は、近代以降の国際社会の構造や文明社会のひずみももたらした結果でもあります。このような時代において、人間の尊厳に立った平和な世界の構築と、そのためのグローバルリーダー、地球市民の輩出が一層求められているといえます。本授業では、「グローバルキャリアのための平和問題入門—地球的課題とSDGs—」のテーマのもと、様々な平和問題の理論と具体的課題について学ぶとともに、それぞれの進路、広く世界を舞台としたグローバルキャリアがそれらの問題とどうつながり、その解決にどう貢献できるのかについて考えていきたいと思います。
日英語比較研究	日英語の発想の違いについて、語のレベルや名詞の捉え方と数え方、人称代名詞、物語文の視点の日英語比較、ディスコース(文章などの1のまとまりのあるテキスト)の展開における日英語の比較、文章の構造や段落ごとのラグラにおける日本語と英語の違いを実例に即して学ぶ。さらに、なぜ違いが生じたのかも考えていく。
哲学・思想への招待	万学の母、「哲学(フィロソフィー)」。それは人類の最古にして最先端の学問であり、その歴史はまさに古今東西の哲者がおりなくも究極の知の探求と見えます。新たな知の形成へ参画しゆく力をつけるために、西洋と東洋の古代から現代までの「知の歴史」を学ぶことは、きわめて大事な営みです。本授業では、その入門として、西洋哲学の源流であるプラトン『ソクラテスの弁明』から、カント哲学、現代倫理学に至るまでの基本的な考え方、そして初期大乗仏教として重要な『法華経』を学びます。いずれも人類の知的遺産を代表する古典中の古典であり、日本の文化・思想に与えた影響も我々の想像以上に大きなものがあります。現代にも脈々と受け継がれているそれらの思想の魅力とは何か、またそれらが今日の我々に示唆する智慧は何か、受講生とともに考えていきたいと思います。
ロシア文学入門	「ウラジミール・ナホフとレフ・トルストイ〜『ロリタ』と『アンナ・カレーニナ』」を学ぶと題するもので、「ロリタ」と『アンナ・カレーニナ』について、それぞれ日本語訳・原作・翻訳テキストの3つを比べながら、2つ作品の読了に動んでいく。さらに本講義は、表現文化研究を志す人のための「文学と映画」というテーマを副題とし、スタンリー・キューブリック、エイリアン・ライン両監督によって制作された『ロリタ』、および、両作品の映画作品の鑑賞を行う。
心理学概論 II	心理学とは、「こころ」を研究対象とする学問といわれますが、その領域は多岐にわたります。本授業では、心理学全般について、主に社会心理学、パーソナリティ心理学、臨床心理学の観点から基礎的な知識や理論を学びます。皆さんの自発的・積極的な授業参加・発言を望みます。講義を中心しますが、随時視聴覚資料や心理分析(質問紙)を使用し、心理学の実践的側面にもふれていきます。また、学習ふりかえりシートを用いて、皆さんの学びを深めていきたいと思います。心の不思議や人間行動のしくみについての理解を深めることは、広い意味での自己理解・他者理解を促し、人生を豊かに生きるための一助となるでしょう。皆さんも心理学を学ぶことを通じて、「心理学的にも見える・考える」視点を広げていきましょう。
保育方法論	幼児教育・保育における環境を通しての教育を基本とし、乳幼児の主体的・対話的で深い学びを促すための遊びを中心とした総合的な指導を踏まえ事例検討やビデオ学習を通じ、乳幼児理解や環境構成の理解を深めながら教育方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)の視点を獲得していく。また、実践記録をもとに、保育形態を踏まえながら個人と集団を対象とした指導計画の具体性及び方法論の有効性を検討し合う。さらに、マイオリジナル事例を作成し、プレゼンテーションを通して援助のレパートリーを共有する。最終的には、保育経験5年以上以上の現職保育者が活動中に実際に出会った乳幼児の「望ましい姿」及び「配慮が必要な姿」に対しての援助を創造する。
健康・医療心理学	本科目は公認心理師対応カリキュラムであり、人の心の健康と疾病・障害に関連する分野を扱うものである。特に、①ストレスと心身の疾病との関係、②医療現場における心理社会的課題及び必要な支援、③保健活動が行われている現場における心理、④社会的課題及び必要な支援、⑤災害時等に必要となる心理に関する支援などについて、基礎的な事項から解説したうえで、臨床的・実践的な話題へと理解を深めていく。
社会教育演習	まず社会教育現場の事例紹介を通じ、イメージを沸かせた上で、グループで社会教育職員になったつもりで学生を参加対象にした社会教育事業の企画・立案を行う。
Nonprofit Organizations and Public Sector	This course treats Non Profit Organizations and related political and governmental systems. Students will study about function, management and financial aspects of various types of organizations in public sector such as universities, sports organizations, Independent Administrative Agencies and international NGOs. This course treats also governmental systems, political and administrative process in Japan and sometimes those in some other countries. It also treats evaluation and planning of public projects, procurement system in public sector and accounting and taxation system about NPOs in Japan.
Principles of Sociology	This course introduces students to the central concepts and perspectives of sociology as well as their application to students' everyday lives. It trains students to look at and analyze pressing social issues, thus instilling in them a greater understanding of social processes at work in contemporary times. It also aims to show how social forces influence individuals and how they in turn reproduce and transform these. This course is designed for students who are new to the discipline and want to be informed of the fundamental theories and frameworks used in sociological analyses. Topics ranging from social roles and culture, social inequality, crime and deviance, education, race and ethnicity will be covered.
微積分学 II	微積分学の入門を講義する。数学はさまざまな分野での研究の手段や言葉を提供する。その中でも微積分学は線形代数と並んで一番の基礎となる科目である。この講義では2変数関数の微積分について学ぶ。
制御工学	工学・技術分野は勿論のこと、身近な日常生活や社会など、多くの場面に関わっている制御の概念を理解することは、どのような分野の方々においても有益なことである。特に、理工系の学生にとっては、専門分野に関わらず、理工系の基礎教養として身につけておくことが望ましい。これは、制御工学の厳密性や理論、及び実践としての深さを探求するきっかけになれるように導く。
老年看護援助論 I	老年看護学概論をふまえ、加齢変化や機能障害を有する高齢者の生活への影響を理解し、日常生活援助に必要な具体的な知識を習得する。